



梅だより



ごあんない

- ・ 巻頭言
- ・ 教員推薦図書
- ・ 図書館道案内
—almo のいいところ—
- ・ 特集
—ここからはじめる—
- ・ 新着図書
- ・ 利用案内
- ・ 図書館カレンダー



時折、地下鉄に乗ると、腰を下ろして向い側の席を見る。10人の人がいれば、8人までがスマートフォンに向かって懸命に何かをしている。ゲーム、SNS、あるいはテレビ、動画、音楽などの鑑賞であろう。本を読んでいる人を滅多に見なくなった。その絶滅危惧種の一人が、私である。

本がなければ、不安になるほどに本を持ち歩く。読書は趣味というより、食事のようなもので、読まなければ腹？が減る。これは病弱だった子ども時代に始まった。また父の転勤で、繁華街から農村地区に投げ込まれた小学生の、現実逃避だったのかもしれない。当時講談社から出た少年少女世界文学全集（1962年）全50巻をむさぼるように読んだ。世界というのはなんと魅力的なところなのか、人にはこんなに多様な生き方、感じ方があるのだということ、如実に悟った。

電子書籍の時代といわれるが、私は本というものの物理的実体も好きである。しかし何ととっても、初めての本を手にするときの不安と期待の入り混じった感覚は、何にも替え難いのである。読書は他の物では味わえない独特の時間を与えてくれる。そして図書館はこれまでの人類の営みのすべてが詰まった場所である。どうか図書館に足を運んでいただきたい。



教員推薦図書

『言葉の海へ』

田中 重好 先生

図書館は、「言葉の海」で、言葉に満ち満ちている。言葉を知り、使う能力を高めることこそ、大学時代に努めてほしいことです。

言葉は「日本人の心性を、日本人の論理を、総じて日本の文化を」映している。たとえば、一人称の主語は英語では必ず「I」、中国語では「我」（ウオ）であるのに対して、日本語では、自分の目の前に誰がいるかによって、「わたくし」「わたし」「ぼく」「おれ」「じぶん」などと複数の言葉を使い分けている。しかも、不思議なことに、「ぼく」は「下僕」の「ぼく」で、本来は「相手に対してへりくだって使う」言葉であったものが、現在では「対等の相手」に対して使っており、元々の意味は忘れられている。さらに、喧嘩するときを使う「てめえ」は、元々は「手前」という自分の意味だった言葉が、いつの間にか二人称代名詞として使われている。こうした言葉から分かることは、「『自分』というものの立場を・・・対人関係に即して」捉え、さらに、「自分と他人との間に厳重な垣根を設けない」ためである。こうした気づきに、森本哲郎『日本語 表と裏』は満ちている。

もっと根本的に言葉と人間、文化を考えたいと思う人には、丸山圭三郎『言葉とは何か』をお薦めします。

旧約聖書の天地創造の第一日目に、神が「光あれ」といった意味も分かるかもしれません。

森本哲郎/著『日本語 表と裏』
丸山圭三郎/著『言葉とは何か』



図書館道案内



図書館のPR活動をお手伝いする学生の集まりがある・・・
その名は【Library Mate】！
その活動の様子をご紹介します♪

選書ツアー

図書館に置きたい本を実際に書店で選ぶことができるイベント！
所属する学科や学類ごとに選ぶ分野を担当します。

学生選書展示

選書ツアーで選び、図書館に入った本を展示します。
展示のデザインや本の紹介POPも選書したLibraryMateが作成します！

図書館フェスタ

10月の尚志祭で行う図書館イベント！
毎回、様々なイベントを計画しています。
小さなお子さんから大人の方まで、幅広い年齢層の方に参加していただいています。

広報

オススメの本の紹介や、活動計画を紹介する広報誌を作成します。
レイアウト、原稿、編集まで全てLibrary Mateが担当し、作成・発行します！

ライブラリアン活動

LibraryMate が書架清掃を中心に補助的な作業をする活動です。
作業後、本がきれいに並んでいる様子を眺めるととても気持ちがいいです★

先輩 Library Mate に質問しました！

回答：H.S さん

- ①almo(大学図書館)のいいところは？
広くて、開放的。様々な分野の本が偏らずに揃っているところ。
- ②LibraryMateの思い出を教えてください
選書ツアー。自分や学生が欲しい本を図書館の予算で買えるから！実際に本屋さんを散策して、本を探せることは他では出来ないから。
- ③図書館利用アドバイス！
難しい本ばかり…と思わないで、とりあえずぐるぐる回ってみて欲しい。小説でも図鑑でも漫画でも、なんでも揃っていることに気がつくはず。使わないのは勿体ない！

特集 『ここからはじめる』

さあ！いよいよ新学期！
新しいこと、はじめてみませんか？

ここから学ぶ



『思考を鍛える
大学の学び入門』
井下千以子/著
377.15||In

ここからはじめる



『超はじめての
マウンテンバイク』
(タツミムック)
786.5||Ch

ここから知る



『人類の悲しみと
対峙するダークツ
リズム入門ガイド』
いろは出版/編
290.93||lr

『タヌキ学入門』
高槻成紀/著
489.56||Ta



『災害ボランティア
入門』
山本克彦/編著
369.3||Ya



『信じることを
ためらっている人へ
キリスト教「超」入門』
岡野昌雄著
190||Ok



新着図書

『モンテッジオ小さな村の旅する本屋の物語』

内田洋子/著 方丈社 【024.37||Uc】

『心理学からみた食べる行動』

青山謙二郎, 武藤崇編/著 北大路書房 【141.74||Ao】

『カルピスをつくった男三島海雲』

山川徹/著 小学館 【289.1||Mi】

『大学生が知っておきたい消費生活と法律』

細川幸一/著 慶應義塾大学出版会 【365||Ho】

『絶滅危惧の動物事典』

川上洋一/著 東京堂出版 【482.1||Ka】

『日本人がいちばん暮らしやすい間取り図鑑』

フリーダムアーキテクト/著 エクスナレッジ 【527.1||Fu】

『残したい手しごと日本の染織』

片柳草生/著 世界文化社 【753.2||Ka】

『3行しか書けない人のための文章教室』

前田安正/著 朝日新聞出版 【816||Ma】

『シェイクスピア劇を楽しんだ女性たち』

北村紗衣/著 白水社 【932.5||Ki】

『図書館徹底活用術』

寺尾隆/監修 洋泉社 【015||To】



※配架場所が新着展示から開架に移動している場合があります

利用案内

貸出の種類		通常	長期貸出	卒業研究	実習
貸出冊数	学生	7冊	10冊	5冊	7冊
	院生・研究生	25冊		-	
	地域利用者	2冊	-		
貸出期間	学生	2週間	期限内	1ヶ月	5週間
	院生・研究生	1ヶ月		-	
	地域利用者	2週間	-		

◆貸出

資料とICカード(IC学生証)または登録したスマートフォン(携帯電話)をカウンターへお持ちください。

◆返却

返却期限日までにカウンターへお持ちください。

返却時、学生証(ICカード)は不要です。

※閉館時は、図書館入口横と1号館正面玄関エレベーター前に設置しているブックポストをご利用ください。

※返却期限を過ぎると貸出停止(有期限)になります

図書館カレンダー

■通常開館 9:00-19:30

■土曜開館 10:00-14:00

■閉館日

■短縮開館 9:00-17:00

■短縮開館 9:00-16:00

■延長開館 9:00~20:30

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■2F ブラウジングスクエア及びセミナールームは8:30より利用可能です。

■毎週、月・木曜日の礼拝時間中(10:30~11:10)は一時閉館となります。

■臨時開館や臨時閉館についてはホームページや掲示板でお知らせいたします。

■○は春季休暇長期貸出返却日です。

図書館広報誌 梅だより 第72号 2019年4月発行(年4回発行予定)

尚絅学院大学図書館 SHOKEI GAKUIN UNIVERSITY LIBRARY

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4丁目10-1 URL:<http://libwww.shokei.ac.jp/>

TEL:022-381-3440 FAX:022-381-3441 MAIL:library@shokei.ac.jp